組合ニュース

第　１５１４８　号
２０１７年８月７日(月)
新日鐵住金和歌山労働組合
組　織　教　宣　部

WAKAYAMA WORKERS' UNION

代表内線番号　和歌山地区(本部)　(54)-3590　堺地区　652990　海南地区　(54)-5555
組　合　ＨＰ　http://nssmwu.jp/

第 13 回中央委員会報告

【日時】7 月 28 日（金）17 時 15 分～17 時 50 分
【出欠】出席 79 名、欠席 14 名、出席率 85%
【議長】川島氏

Ⅰ．報告事項

1. 上部団体会議報告
　・第 12 回中央執行委員会報告
　・中央労使協議報告
2. 箇所労使協議報告
【労使協議会】
・2017 年度 2/四期合理化案件について（その 3）
・2017 年度 3/四期合理化案件について
【臨時経営委員会・労使協議会】
・クレーン整備・元方工事管理機能の直営化について
【経営委員会】
・2017 年 8 月度生産計画について
3. 新日鐵住金健康保険組合 第 15 回理事会・第 14 回組合会報告
4. 第 51 期労働組合役員選挙結果報告
5. 「和歌山労組第 50 期総括」および「新日鐵住金労連第 4 期運動方針（案）」に関する職場討議の開催について
6. 8 月度日程について

Ⅱ．審議事項

1. 2018 年度暫定予算に関する件（案）

報告事項 6 件、異議なく承認
審議事項 1 件、満場一致で可決決定

☆中央委員会議事内容の一部を紹介します☆

◆2017 年度 2/四期合理化案件について（その 3）
＜組合＞

去る、2017 年 4 月 24 日に開催した労使協議会において、会社から「2017 年度 2／四期合理化案件について」の提案を受け、当該支部と連携を図りながら、これまで試行への対応を図ってきたところである。

この度、当初の計画通り、試行期間が終了したことから効果確認を実施し精査した結果、今回の合理化について以下の通り取り扱うこととする。

【対象職場】：中径製品工場
　　東精整検査課　東倉入職場

本件については、2017 年 5 月 1 日から 5 月 31 日までの間に実施した試行結果を踏まえ、6 月 16 日に効果確認を行ったところである。その結果、支部からの要望はなく、試行結果についても特段問題ないとの判断から、中径製品工場の東倉入職場における要員改訂について了承する。

＜会社＞

ただ今組合より、「2017 年度 2／四期合理化案件」について了承する旨の態度表明を受けたところである。まずは、本施策について、組合ならびに従業員の皆さんのご理解とご協力に感謝申し上げる次第である。

本案件の実施後についても、引き続き安定操業へのご協力をお願いしたい。

◆2017 年度 3/四期合理化案件について
＜会社＞

組合並びに従業員各位におかれては、常日頃より各般に亘る会社諸施策に対し、ご理解とご協力を頂き、厚く御礼申し上げる。

今般、検証を重ねてきた合理化案件について成案を得たことから、以下の通り提案することとする。

1. 対象職場：中径製品工場
　　東精整検査課　東倉入職場
2. 要旨

現在、中径製品工場東工場の東倉入職場においては、1 名／シフトの要員配置にてハンド式X線成分分析装置を用いた検査業務を行っている。今回、新設備を導入し当該検査を自動化することから、要員を 1 名／シフト改訂する。

3. 要員改訂内容

10 名×4 ｼﾌﾄ（40 名）⇒9 名×4 ｼﾌﾄ（36 名）

4．試行期間
2017 年 8 月 1 日～2017 年 8 月 31 日（予定）
5．実施時期
2017 年 10 月 1 日（予定）

＜組合＞

ただいま会社より 2017 年度 3／四期合理化案件について提案を受けたところである。

組合としては、本会社施策である業務効率化を図ることについては理解するものの、要人員に関わる案件であることから、慎重に対応すべきであると考える。したがって、試行期間において当該支部と十分に連携を取り合い、雇用の確保はもとより、職場の意見・要望を吸い上げ、当該職場で従事する組合員の作業負荷や作業自体の適正化が図られるものか見極めたうえで、後日あらためて話し合いの場をもつこととしたい。

◆クレーン整備・元方工事管理機能の直営化について

＜会社＞

・当所の起業工事における工事管理機能については、1996 年に、直営より旧住金プラント和歌山㈱（現：日鉄住金テックスエンジ㈱）へ、クレーン整備機能（製鋼及び原料クレーンを除く）についても、直営より旧日鉄住金ユナイテッド和歌山㈱へ業務委託してきたところである。その後、2015 年に旧日鉄住金ユナイテッド和歌山㈱を直営化した際、クレーン整備機能（製鋼及び原料クレーンを除く）については日鉄住金テックスエンジ㈱へ移管し、現在に至っている。
・このような中、クレーンにおいては老朽化が進んでおり、設備更新を含めた改良保全および月例・年次点検の強化、クレーン本体から土建設備に至るまでの総合的設備管理の徹底等、クレーン管理体制の再構築を図ることで、更なる安定化と業務効率化を指向していく必要がある。
・次に、元方工事管理についてであるが、直営で行っている整備工事については、本年を安全管理特別強化年と位置付けており、整備工事重点管理標準による直営の安全管理への積極的な関与に取り組んでいるところである。一方で、業務委託している起業工事についても例外ではなく、直営として確実な管理が求められていることから、早急に工事管理体制を整えることで起業工事への全社重点管理標準の適用を進め、安全管理強化を図っていく必要がある。したがって、上述した課題を解消すべく、クレーン整備機能および起業工事における元方工事管理機能を直営化することとしたい。

1．実施施策
日鉄住金テックスエンジ㈱に業務委託しているクレーン整備機能および起業工事における元方工事管理機能の直営化
2．要員規模（20 職位）
（1）クレーン整備　15 職位
（2）工 事 管 理　 5 職位
3．実施期日
2017 年 10 月 1 日
4．人員施策
日鉄住金テックスエンジ㈱への出向者の直営戻しおよび日鉄住金テックスエンジ㈱からの出向受けにて対応する。

以上、日鉄住金テックスエンジ㈱に業務委託しているクレーン整備機能および元方工事管理機能について直営化する提案をしたところであるが、直営化後の組織体制や要員設定については、別途成案を得次第、改めて説明する。

＜組合＞

・本施策については、1996 年に実施した起業の工事管理機能の業務委託ならびに 2015 年より移管しているクレーン整備機能（製鋼及び原料クレーンを除く）の業務委託に対し、クレーンおよび起業工事における管理体制を整え、安全管理強化を図ることを目的としてクレーン整備・元方工事管理機能を直営化するとしている。
・組合としては、クレーン整備・元方工事管理機能を直営化することにより、安全・設備管理の強化につながるものとして、その必要性について理解するものである。
・そのもとで、本施策における組織体制や人員措置の考え方など、会社と議論したいと考えるところであるが、本日は説明・提案を受けた直後であることから、本施策内容について当該支部と連携を図りながら十分に精査したうえで、後日、会社との話し合いの場をもって質すこととしたい。

◆「和歌山労組第 50 期総括」および「新日鐵住金労連第 4 期運動方針（案）」に関する職場討議の開催について

1. 和歌山地区

日	時	場　所	支　部	対応者
8/1（火）	15:20	Ｎｏ．２・３会議室	鋼片	柳谷
8/2（水）	7:20	ミル大会議室	中径製管	福井
	17:15	事務所大会議室	圧延保全	岡崎
8/3（木）	15:15	Ｎｏ．３・４会議室	コークス	歌野
	16:45			
	17:15	組合会館大会議室	設備管理	山本
8/4（金）	15:20	製鋼事務所避難場所	製鋼	池田
8/7（月）	15:15	大会議室	薄板	岡崎
	15:30	アメニティー大会議室	製銑 製銑原料	福井
8/8（火）	16:45	アメニティー大会議室	製銑保全	岡崎
	16:45	製鋼事務所避難場所	製鋼保全	柳谷
	17:15	組合会館大会議室	総務 工程技術 鋼管技術	山本
8/9（水）	15:15	ＳＵＳ事務所 201 室	ステンレス	福井
	15:30	中径製品大会議室	中径製品	歌野
	16:45	スカイホール	動力	柳谷

2. 堺地区

日	時	場　所	支　部	対応者
8/2（水）	12:20	Ａ・Ｂ会議室	設備総務	谷路
	13:00	Ａ・Ｂ会議室	大形	谷路

3. 海南地区

日	時	場　所	支　部	対応者
8/2（水）	16:05	第３食堂	小径製管	中濱
	17:00	設備センター大会議室	海南保全	中濱
8/3（木）	16:15	第２食堂	冷間製管 小径製品	中濱

今期の活動総括である職場討議を上記日程で開催します。各支部の幅広い意見・要望を集約し、来期の活動に繋げるべく、各支部のご理解とご協力をよろしくお願いします。

各種行事報告

夏期安全強化活動を実施中！

●執行部・支部長合同門前立哨を実施●

７月１日からの全国安全週間に伴う夏期安全強化活動の一環として、７月４日(火)6 時 30 分から和歌山製鐵所の各門において「執行部・支部長合同早朝門前立哨」を実施し、執行部・支部長がそれぞれに分かれ、早朝出勤者と夜勤を終えて退社される皆様に対し声かけを行ったところです。

夏本番を迎え大変厳しい暑さが続く中、非常に厳しい作業環境で働かれる皆様へ安全啓発を目的に『今日も一日ご安全に！』と書かれた横断幕を



和歌山地区　南門

掲げ、「ご安全に！」の発声と共に敬礼を送りました。皆様からは笑顔の会釈や、力強い敬礼を返していただきました。

和歌山製鐵所の安全成績については、足もと休業以上の災害は発生していないものの、8 月 3 日現在で不休災害 7 件、軽処置災害 15 件、熱中症 18 件となっており、決して安全とは言い難い状況にあります。



和歌山地区　北門

そのよう中で、今回の門前立哨は、組合員のみならず和歌山製鐵所で働く全ての方に対し、無災害でこの夏場を乗り切って欲しいとの想いを込め、本取組みを実施しました。



和歌山地区　東門

この時期の現場作業では暑さにより注意力や判断力が散漫になりがちです。和歌山製鐵所のものづくりの価値観は、安全・環境・防災が第一優先、品質は第二優先、生産は第三優先となっています。まずは自分の身を守るため安全感度を高め、無理な作業はせず、適度な休憩とこまめな水分補給を行っていただき、この夏場を乗り切れるよう共に頑張りましょう。



堺地区　南門



海南地区　東門

●統一安全ビラ配布を実施●

また、７月６日(木)5 時 45 分から各室・工場において、各支部の機関役員並びに青年女性部委員による「統一安全ビラ」配布を実施しました。

本取組みは、和歌山労組の最重要課題である安全と健康はもとより、これから迎える厳しい夏場を無災害で乗り切れるよう願いを込めて実施したものであり、配布した安全ビラの表には新日鐵住金グループ労働組合総連合会の大森会長による『安全メッセージ』、裏には『安全作文』の最優秀賞受賞作品を掲載しました。

各支部の機関役員の皆様は、早朝にも関わらず



元気よく大きな声で「ご安全に！」と挨拶をされ、出勤された方や丙番後の方にビラを配布しました。また、受け取られた方からも元気な声で「ご安全に！」「お疲れ様です」との挨拶が返ってきました。

これから夏本番を迎え、疲労の蓄積による注意力や判断力の低下が考えられます。無理な作業はせず適度な休憩とこまめな水分補給を行い、作業に変更が生じた場合は一旦作業を中断し必ず変更ＫＹを行うなど、一人ひとりが『絶対に怪我をしない・させない』という強い気持ちを持って、安全最優先での作業をお願いします。



我々労働組合の願いは、「和歌山製鐵所で働く全ての皆様が元気に出勤し、笑顔で家族が待つ家に帰る」という事です。この夏場を何としても無災害で乗り切る為、積極的な安全活動を展開して参りますので、ご理解とご協力をお願い致します。

●執行部激励巡視を実施中●

労働組合では、7 月から 8 月末にかけて全国安全週間に伴う安全強化活動の一環として、『執行部激励巡視』を実施しています。執行部が 4 グループに分かれ、支部長の案内のもと各室・工場の職場を訪問させていただいており、保全部門に対しては、各分駐・詰所に出向き声を掛けてまわっています。



夏本番を迎え、非常に厳しい作業環境となっておりますが、現場第一線で作業されている組合員の皆様に対し、無災害でこの夏場を乗り切ってほしいとの想いを込めて、励ましの言葉を掛けながら、熱中症予防となる「適度な休憩」「こまめな水分補給」等の実践を呼びかけています。言葉をかけられた組合員の方からは、「了解しました」「大丈夫です」等の元気な返答をいただき、また、「パトロールお疲れ様です」と逆に声を掛けていただくこともあります。



作業時は無理せず、体調管理をしっかり行って、この暑い夏場を乗り切り世界一安全な製鉄所を目指して共に頑張りましょう。

ＮＳＧＲ和歌山ブロック『異業種講演会を開催』



去る 7 月 25 日(火)16 時 00 分から組合会館大会議室において、NSGR 和歌山ブロック主催の『異業種講演会』が開催され、加盟組合の役員 50 名が出席しました。当労組からは池田組合長が和歌山ブロック代表、中濱副組合長が副ブロック代表、山本書記長が事務局長、柳谷執行委員が副事務局長の立場で出席し、他の執行委員および支部機関役員も出席しました。

開会の冒頭、池田代表から挨拶があり、その中で「今回講師としてお招きした田中助役は、ブラジルでずっと野球をされており、スカウトを機に高校から日本へ野球留学をされました。社会人野球でも活躍をされ、また、ＷＢＣでは元ブラジル代表として出場し、現在はＪＲ九州で働かれるなど、様々な経験をされております。今回皆さんにも田中助役の貴重なお話を聞いて頂き、多くのものを得てもらいたいと思います。」との挨拶が述べられました。



講話では、九州旅客鉄道㈱小倉駅助役の田中マルシオ敬三氏から、「小倉駅の安全管理取組み」「自身の半生や野球で培った事」について重点的に講演され、参加者からの質問に対しても丁寧な回答をされていました。

最後に、中野副代表の挨拶により本研修会は無事閉会しました。

当労組は、この講演会での貴重な内容を今後の活動に活かし、更なるレベルアップを図るとともに、積極的な活動を展開していきます。

和歌山製鐵所の安全成績

8 月 3 日時点で休業災害 0 件、不休災害 7 件、軽処置 15 件、熱中症 18 件となっています。暑い季節が続きますので、熱中症に気をつけ水分補給をしっかり行って下さい。